



### INDEX

- ◆ 社研お便り
- ◆ お知らせ
- ◆ 研究会・セミナー
- ◆ 全所的プロジェクト
- ◆ 刊行物案内
- ◆ 所員の発言
- ◆ CSRDA/SSJDA
- ◆ 社研インタビュー
- ◆ 人事情報
- ◆ リンク集

## ◆ 社研お便り

### 「社研図書室の資料のカビ対策について」

社研図書室 清水 律子

社研耐震工事のため一年近く書庫から退避させていた資料が、今年3月に図書室に戻ってきました。点検したところ、およそ12,000冊にカビが生えていることが判明。

すぐにカビ資料を隔離して、業者によるカビふき取り・燻蒸等・書庫の消毒作業を行いました。迅速な対応であったため、幸い他の資料へのカビの拡散は防ぐことができました。

今回のカビ発生の原因は、資料を退避させていた別部屋の室に除湿機が無く、更に空調は盛夏のみの短期間使用という節電管理をしていたため、それ以外の期間は、室内の温度が28度以上、湿度が70%以上のことも多く、カビが育つのに適した環境に一定期間さらされたことで、大量発生したと思われる。

資料にカビを発生させないためには、年間を通して書庫内が温度27度以下、湿度65%以下に保つようにし、その値を超えた場合、たとえ無人でもエアコン・除湿機を稼働させることは、とても重要なことなのです。

社研図書室では10年程前に地下書庫の資料に大量にカビを発生させてしまったことがあり、その反省からその後、書庫の温湿度管理等に気を配り、資料を守ってきましたが、今回、退避中の短期間でうかつにも再びカビを発生させてしまったことが残念でなりません。

先日、文化財保存対策研修に参加させてもらう機会をいただきました。資料保存の最新情報を得ることが目的でしたが、一番印象的だったのは、様々な機関のカビ対策の話です。

多くの機関では、カビが資料に大量に発生しても、予算がない等で初期対策がとれず、時間とともに被害が広がり、結果的に除去の予算が膨大になってしまったとのこと。

その点、社研ではカビ発見後に、すぐに対策してもらえたため、被害を最小限に食い止めることができました。社研が図書資料を大切にしている素晴らしい研究所であることをあらためて実感した次第です。

私達の生活の中で、カビ菌はいたる所に存在します。温暖化により以前より高温多湿になった日本では、秋も油断できません。みなさま、温度28度・湿度70%以上が資料カビ発生の危険ゾーンです。研究室の書棚にご注意！一度確認していただくことをお勧めします。

ご自身の大切な研究資料で、カビを「栽培」しないよう、どうぞお気を付けください。



カビ除去後の資料→  
除去前については巻末の“補足”をご覧ください！

## ◆ お知らせ

- 01> **社会科学研究所年報 (No.54)** をpdfファイルで公開いたしました。  
社会科学研究所の2016年度の活動がまとめられています。

詳細・ダウンロード

<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/report/pdf/54/54.pdf>



- 02> 超高齢社会における法的支援のあり方を探る  
—「**超高齢社会における紛争経験と司法政策**」プロジェクト(CJRP)

超高齢社会における  
紛争経験と司法政策

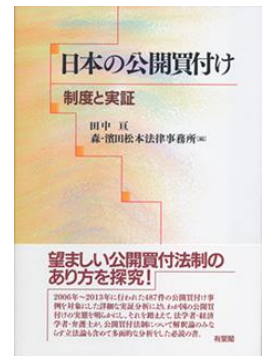
現代の日本社会において、人びとは日常生活のなかでどのようなトラブルや困りごとを経験し、どのように解決している(あるいはできていない)のか。とくに、超高齢社会に突入し、高齢者のトラブルや被害の実態はどうか。このことを実証的に明らかにし、その知見に基づき超高齢社会における法的支援のあり方を探る共同研究プロジェクトが、現在、東京大学社会科学研究所を拠点に、全国の多くの研究者が参加して実施されています(科学研究費補助金基盤研究(S)「超高齢社会における紛争経験と司法政策」、2016年度～2020年度、**研究代表者:佐藤 岩夫**・社会科学研究所教授)。今年11月には、全国の12,000人の人びとを対象とする大規模アンケート調査を実施する予定です。プロジェクトの成果をご期待ください。

詳細 <http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjrp/>

- 03> 第11回M&Aフォーラム賞

**田中 亘**が、森・濱田松本法律事務所との共編著『日本の公開買付け—制度と実証』(有斐閣、2016年10月)により、第11回M&Aフォーラム賞正賞『RECOF賞』を受賞しました。

<http://www.maforum.jp/thesis/11th/11th.html>



## ◆ 研究会・セミナー

- 01> 社研セミナー

2017-09-12 「社会階層研究における雇用関係・技能・制度的不平等に関する理論」  
**小川 和孝氏**(慶應義塾大学法学部)  
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20170912.html>

2017-10-10 「潜在能力アプローチと所得の公平性」  
**加藤 晋**(社会科学研究所)  
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20171010.html>

- 02> 産業組織研究会 <http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOWJA.html>

2017-9-13 「多数のサプライヤーが存在する状況における企業とサプライヤーの利潤」  
**成生 達彦氏**(京都大学)

2017-9-20 「Partial privatization in asymmetric multi-market competition」  
**川崎 晃央氏**(大分大学)

## ◆ 全所的プロジェクト



危機対応学 HP

<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/>

公式Twitter

<https://twitter.com/crisisthinking>

## 01&gt; 活動報告

- 2017-7-25 第29回社研シンポジウム(於:青山ウイメンズプラザホール)  
「Beyond the “Inward-Looking Society” ～『内向き社会』という危機を超えて」  
詳細は、HPをご覧ください。  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/29-beyond-the-inward-looking-society.html>
- 2017-8-22～26 危機対応学釜石調査  
危機対応学・第1回釜石調査の記録  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/2017kamaishi-1.html>
- 2017-8-26 危機対応学公開シンポジウム@釜石  
詳細は、こちらをご覧ください。  
シンポジウムの内容について、詳細は**佐藤 岩夫**のエッセイをご覧ください。  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-8.html>
- 2017-9-19 第4回危機対応学ワークショップ  
「有人宇宙活動における危機対応と宇宙飛行士の選抜・訓練について」  
**阿部 貴宏氏**(宇宙航空研究開発機構(JAXA)・宇宙飛行士運用グループ長)  
<https://twitter.com/crisisthinking/status/910064809378377728>

皆様、多数のご参加ありがとうございました。

## 02&gt; エッセイ掲載

- 2017-7-13 「考えたくないことを、誰がどう考えるか？」  
— 「ネガティブ・ケイパビリティ」と危機対応学 —  
**有田 伸**(社会科学研究所)  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/negative-capability.html>
- 2017-10-3 「大阪の都市政治からの危機」  
**森 裕之氏**(立命館大学)  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-7.html>

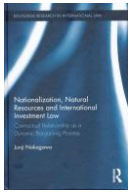
## 03&gt; メディア掲載

- 2017-8-28 『岩手日報』掲載:「被災の実態調査報告 危機対応学シンポ 東大教授らが討論」
- 2017-8-30 『釜石復興新聞』掲載:「意識調査を市民生活向上に 東大社会科学研究所公開シンポジウム  
「危機対応学」めぐり意見交わす」
- 2017-9-6 『毎日新聞(地方版・岩手)』掲載:「7年目の被災地 人生設計ますます厳しく 半数以上、  
元の土地戻れず 釜石5年間の復興意識調査 /岩手」
- 2017-9-15 『広報かまいし』掲載:P12まちの話題のページに掲載

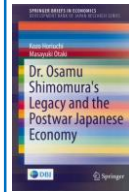
お知らせ

2017-10-03 『潮』に**玄田 有史**インタビュー「社会に「希望」が生まれるとき。」が掲載されました。

## ◆ 刊行物案内



**Junji Nakagawa**, *Nationalization, Natural Resources and International Investment Law: Contractual Relationship as a Dynamic Bargaining Process* (Routledge, 2017, July)



**Kozo Horiuchi and Masayuki Otaki**  
*Dr. Osamu Shimomura's Legacy and the Postwar Japanese Economy* (Springer, 2017, Aug.)



### Social Science Japan Newsletter

"The Seventieth Anniversary of the Founding of the Institute of Social Science of the University of Tokyo" (No. 57 September 2017)



### 佐々木 弾

『統計は暴走する』  
(中央公論社, 2017年9月)

#### ディスカッションペーパー(外国語シリーズ)

F-187 **Yu Mandai** and **Masaki Nakabayashi**, "Regulations to Protect Owner Peasants: Governance of Foreclosure by the Shogunate" が刊行されました。

#### ディスカッションペーパー(外国語シリーズ)

F-188 **Izumi Mori**, "The Effect of Private Junior High School Attendance on Educational Expectations and Academic Self-Concept in Japan" が刊行されました。

#### ディスカッションペーパー(外国語シリーズ)

F-181 **Masaki Nakabayashi**, "Self-fulfilling Distortion and Ownership Structure: At the Dawn of the Japanese Capitalism" が改訂されました。(初版発行2016年9月)

## ◆ 所員の発言

## 01&gt; 新聞

2017-8-24 『読売新聞』(朝刊、地域欄群馬版)の「保守王国は今」に、**宇野 重規**のインタビュー記事「創造的精神」今どこに」が掲載されました。

2017-9-2 『日本経済新聞』(朝刊)の「半歩遅れの読書術」に、**宇野 重規**の連載(毎週土曜日全5回)が掲載されました。

2017-9-5 『東京大学新聞』(2017年9月5日号, 第2813号)の記事「地方から東大へ」進まぬ訳は埋まらぬ情報格差 受験への意識差ネックに」に、**石田 浩**のコメントが掲載されました。

2017-9-6 『毎日新聞』(朝刊)の「論点 前原民進党の明日は」に、**宇野 重規**のインタビュー記事「五輪後見据え勢力結集を」が掲載されました。

- 2017-9-13 『日本経済新聞』(朝刊)「経済教室」に、**宇野 重規**の「綻ぶ「安倍1強(下)」「受け皿」次第で状況一変も」が掲載されました。
- 2017-9-16 『朝日新聞』(朝刊)「わたしの紙面批評」に、**宇野 重規**の「情報開示と説明責任：今後も粘り強く報じ続ける必要」が掲載されました。
- 2017-9-24 『東京新聞』(朝刊)「時代を読む」に、**宇野 重規**の「衆院解散の「副作用」」が掲載されました。
- 2017-9-28 『読売新聞』(朝刊)の記事「[検証アベノミクス](2) 人手不足でも給与増えず」に**玄田 有史**のコメントが掲載されました。
- 2017-9-29 『東京新聞』(朝刊)に、**宇野 重規**の「「思い付き」の犠牲になる国民の利益」が掲載されました。
- 2017-10-11 『時事通信社』の配信「G20、日米対話の焦点を聞く＝識者インタビュー」に、**中川 淳司**のインタビュー「米はTPP復帰が大前提」が掲載されました。

## 02> ラジオ

- 2017-9-7 **玄田 有史**が J-WAVE 『Jam the WORLD』の「人手不足なのに、なぜ賃金が上がらないのか？」に出演いたしました。

## 03> ソーシャルニュース

- 2017-9-26 『ハフポスト日本版』の記事「あの人のことば」に、**玄田 有史**のインタビュー記事「政治家が「希望」を語る日本 まだそんなモノはあるのだろうか」が掲載されました。

## ◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター (CSRDA/SSJDA)



### 01> 国際ワークショップ

- 2017-9-7 「Data Librarianship: Changing roles and changing needs for academic librarians in the United States / データ・ライブラリアンシップ: アメリカ大学図書館におけるライブラリアンの役割変化について」

**Jungwon Yang**, International Government Information and Public Policy Librarian,  
the University of Michigan Stephen S. Clark Library

<http://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/public-lectures/>

### 02> お知らせ

- 2017-9-20 リモート集計システム (Nesstar) で利用可能なデータが増えました。  
<https://nesstar.iss.u-tokyo.ac.jp/webview/>

### 03> SSJDAデータ公開情報

2017年9月、新規公開データはありませんでした。

## ◆ 社研インタビュー

## 01&gt; 第28回 新刊著者訪問

『フランス法における変換請の諸法理 原状回復と不当利得』  
(有斐閣2016年8月)

齋藤 哲志(専門:フランス法)

——フランスは今年5月に新大統領が就任していろいろ話題が多いですね。先生からご覧になってフランスってどういう国ですか？

齋藤>フランスとの付き合いはそれなりに長くなってきましたが、まだまだ謎だらけです。挙げていただいた選挙に関していえば、大統領選はよいとして、その後の国民議会選挙で大統領与党があれだけ勝ってしまうとは。フランスという国はときにこちらの想定を裏切ってくるので飽きずにいられます。

(続きはぜひ本文をご覧ください！)

[http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/tsaito\\_2017\\_10.html](http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/tsaito_2017_10.html)



## 02&gt; 第25回 社研卒業生の現在(いま)

法政大学人間環境学部

高橋 五月さん

2008年9月～2011年8月

SSJ Forumのモデレーターとして赤門棟  
5階に勤務していました。



東京大学物性研究所

大島 潤二さん

2001年4月～2005年3月

研究協力係で科研費、国際交流の業  
務を担当していました。



社研在職中のことや、現在のご様子などを伺っています。こちらも詳しくは本文をご覧ください。

<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/ob/index.html>

## ◆ 人事情報 (2017年10月1日付)

異動内容	氏名	職名	所属等	前所属等
昇任	森 いづみ	准教授	附属社会調査・データアーカイブ 研究センター	社研助教
採用	王 帥 WANG SHUAI	助教	附属社会調査・データアーカイブ 研究センター	社研特任研究員(短時間)

(特定短時間勤務有期雇用教職員)

異動内容	氏名	職名	所属等
採用	太田 昌志	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター
採用	王 昊婷 WANG HAOTEING	学術支援職員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター

## ◆ 社会科学研究所/リンク集

- 01> 各種最新情報: <http://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 02> 研究会・セミナー案内: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html>
- 03> 人材公募情報: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html>
- 04> 刊行物一覧: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html>

## ◆ 補足



巻頭「お便り」で取り上げられたカビの話題ですが、  
左はカビカビのビフォー写真です！

お便りによると「温度28度・湿度70%以上が資料カビ発生の危険ゾーン」とのこと。

さらに発生期間を調べてみると、同じような室温条件では

- ・湿度100%... 2日間でカビ発生
- ・湿度 90%... 約1週間 "
- ・湿度 80%... 約2週間 "
- ・湿度 70%... 3か月 "
- ・湿度 65%... およそ3年 " なのだそうです。